



オープンソース・ソリューションで イノベーションを推進する

アジャイルなオープンソース・ソリューションで、皆さんが抱える
ITの最も大きな課題を克服し、そしてビジネスを変革できます。



目次

<u>ビジネスはITをベースに成り立っている</u>	3
<u>強力なIT基盤の構築からスタートする</u>	4
<u>自動化によりITチームを解放する</u>	5
<u>アプリケーションをモダナイズする</u>	6
<u>データのパワーを活用する</u>	7
<u>IT環境をプロテクトする</u>	8
<u>クラウドを活用する</u>	9
<u>オープンソースで実現できることを理解する</u>	10

目次

① <u>ビジネスはITをベースに成り立っている</u>	3
<u>強力なIT基盤の構築からスタートする</u>	4
<u>自動化によりITチームを解放する</u>	5
<u>アプリケーションをモダナイズする</u>	6
<u>データのパワーを活用する</u>	7
<u>IT環境をプロテクトする</u>	8
<u>クラウドを活用する</u>	9
<u>オープンソースで実現できることを理解する</u>	10

84

%

の企業がデジタル・トランスフォーメーションのイニシアチブに積極的に取り組んでいます。¹

ビジネスはITをベースに成り立っている

デジタル・テクノロジーを企業のすべての領域に統合するデジタル・トランスフォーメーションは今や、大部分の組織の最優先事項になっています。

IBMは、デジタル・トランスフォーメーションの最大の課題(データからのインサイト取得、IT環境の簡素化、新しいアプリケーションの迅速な立上げ、事業継続性の維持など)を解決するための鍵は、オープンソース・テクノロジーであると考えています。オープンソースはプロプラエタリー・テクノロジーに縛られないため、驚くほどの柔軟性を提供します。オープンソースはハイブリッド・システムの可能性を最大化できます。また、事実上あらゆるストレージ・システムのデータ・セットに仮想的にアクセスし処理できます。

[Red Hat®のオープンソース・ソリューション](#)は、オンクラウド、オンプレミス、またはハイブリッド環境をお客様のペースでモダナイズしたり、ソリューションの自動化や新しい機能の開発、また、最も差し迫った目標の達成に必要な力を提供します。

Red Hatのソリューションは、お使いのIBMのスタックと簡単に統合できます。これらのソリューションは、ミッション・クリティカルなワークロードにオープンソースを実装し、結果として、新しいテクノロジーを導入し、サイロを解体し、チームをより活躍できるように準備させることができます。

Red Hatのツールを活用すれば、皆さんの適応力をあげ、セキュリティを強化し、迅速なアプリケーション開発や、より素早いスケール、ITチームの解放、クラウドへの容易な移行ができるようになります。

目次

<u>ビジネスはITをベースに成り立っている</u>	3
② <u>強力なIT基盤の構築からスタートする</u>	4
<u>自動化によりITチームを解放する</u>	5
<u>アプリケーションをモダナイズする</u>	6
<u>データのパワーを活用する</u>	7
<u>IT環境をプロテクトする</u>	8
<u>クラウドを活用する</u>	9
<u>オープンソースで実現できることを理解する</u>	10

イノベーションのための自由を 獲得しよう

必要に応じてスケールする。
ワークロードをシームレスに移動する。
どこからでも実行できるアプリケーション
を開発し管理する。

インフラストラクチャーを一つにまとめ、
イノベーションを起こしましょう。

[詳細はこちらから](#)

強力なIT基盤の構築から スタートする

IBMは、ハードウェア、ツール、オペレーティング・システムが混在した環境を取り扱ってきました。そして、このパッチワークのようなセットアップがいかに生産性を妨げ、時間のかかるモニタリングを必要とするかを目の当たりにしてきました。技術インフラと労働力を最大化するには、標準化が鍵となります。標準化されたOS環境の導入により、ITインフラをモダナイズでき、イノベーションへフォーカスできるようになります。

標準化と聞くと敷居が高く、費用がかかる印象があるかもしれませんが。しかしRed Hatなら、既存の投資はそのままに「まるごと入れ替える(rip and replace)」ことなく、標準化することができます。

Red Hatは、皆さんのようなモダンでアジャイルなビジネス向けに、安定してインテリジェントなセキュリティを重視したIT基盤を提供しています。また、みなさんの既存のインフラストラクチャーに関係なく、一貫性のあるアプリケーション・エクスペリエンスとユーザー・エクスペリエンスを提供します。ハイブリッドクラウド向けに設計されたRed Hatを活用すると、複数の環境をまたがってワークロードを移行できるようになります。

この柔軟性により、必要なアップグレードの規模に関係なく、実質的にすべての規模の企業にメリットをもたらす安定性、セキュリティ、ポータビリティがライフサイクル全体で提供できるようになります。

目次

<u>ビジネスはITをベースに成り立っている</u>	3
<u>強力なIT基盤の構築からスタートする</u>	4
② <u>自動化によりITチームを解放する</u>	5
<u>アプリケーションをモダナイズする</u>	6
<u>データのパワーを活用する</u>	7
<u>IT環境をプロテクトする</u>	8
<u>クラウドを活用する</u>	9
<u>オープンソースで実現できることを理解する</u>	10

自動化への道を歩き始めましょう

より多くのユーザーに自動化を活用できるようにする。

複数のチーム間でコラボレーションする。あらかじめ構成されたロールとモジュールのコレクションを使って、迅速に作業を進める。

Red Hatの自動化の導入により、チームの効率を向上させることができます。

[詳細はこちらから](#)

自動化によりITチームを解放する

ITのコンポーネントやタスクの数は、チームの対応能力を超えて急増しています。冗長で、日常的なタスクを自動化することで、新しいアプリケーションやサービスをより素早くロールアウトできるようになります。また自動化は、セキュリティーやコンプライアンスの課題につながる可能性のあるヒューマン・エラーのリスクを軽減します。自動化は、アプリケーションや、エンジニアリング、運用チームを悩ませている日常タスクをスリム化してくれます。その結果、運用コストを削減し、ITスタッフを解放して、より価値のあるアクティビティーに従事させることができるようになります。

オープンソース・コミュニティの開発者たちは、皆さんのプロセスに簡単に統合できる、フリーの自動化ソリューションを構築しています。Red Hatは、事前に構成された自動化コンテンツと読みやすいYAML自動化言語のライブラリーも提供しています。Red Hatの自動化プラットフォームを導入すれば、お客様のペースで自動化を進めることができるようになります。1つのタスクやサービスから自動化を開始し、チーム間で共有したり、それをベースにプロセスを構築していくこともできるようになります。時間の経過とともに、一度に大きな変更を加えることなく、適切なレベルの自動化に到達できるようになります。

目次

ビジネスはITをベースに成り立っている	3
強力なIT基盤の構築からスタートする	4
自動化によりITチームを解放する	5
② アプリケーションをモダナイズする	6
データのパワーを活用する	7
IT環境をプロテクトする	8
クラウドを活用する	9
オープンソースで実現できることを理解する	10

インフラストラクチャーをコラボレーションの足かせにならないようにしましょう

コンテナを有効活用する。
複数の環境をまたがって作業する。
生産性を向上させる。

Red Hatのコンテナを活用すれば、一貫性のある開発経験を提供し、チームを一つにまとめることができます。

[詳細はこちらから](#)

アプリケーションをモダナイズする

あなたの顧客は、あなたがビジネス競争以上のことを提供してくれることを期待しています。皆さんのチームは、ほぼどこからでもセキュリティーとセルフサービス・アクセスができることを求めています。そして、そのすべてに、複数のソースからの信頼できるデータを提供する必要があります。IBMのお客様は、最新のテクノロジーおよびアプリケーション・プログラミング・インターフェース(API)と統合されたアプリケーション、最新の開発プロセスに対応し、テクノロジー・スタックへの既存の投資を最大化することで成功を手に入れることができます。

多様で絡み合ったITインフラストラクチャーでこれらのアプリケーションを構築するために、コンテナやオープンソース・ベースのKubernetesなどを活用すると、お客様は複数の運用環境やプロセスをまたがって作業できるようになります。

Red Hatは、ハイブリッドクラウド向けに構築され、開発者とオペレーターの両方を対象とした²、業界をリードする優れたコンテナ・プラットフォームを提供しています。フルスタックの自動化された運用、ほぼすべての環境での統一されたエクスペリエンス、およびセルフサービス・プロビジョニングにより、Red Hatを使用すると、チームは異なるデプロイ環境を心配することなく共同作業を行えるようになります。アプリケーション・ライフサイクル全体で一貫した開発経験により、チームはアイデアを開発から本番に迅速に移行できるようになります。

目次

ビジネスはITをベースに成り立っている	3
強力なIT基盤の構築からスタートする	4
自動化によりITチームを解放する	5
アプリケーションをモダナイズする	6
➔ データのパワーを活用する	7
IT環境をプロテクトする	8
クラウドを活用する	9
オープンソースで実現できることを理解する	10

データのパワーを活用する

データを異なる場所に保存するのは、一般的なことです。しかし、データのパワーを活用し、収益性を高め、戦略的な優位性を築くためには、IBMのお客様は、あたかも単一のリポジトリに保存されているかのようにデータにアクセスできなければなりません。

Red Hatはストレージ・インフラストラクチャーを抽象化することにより、開発者向けにデータを集約します。このアプローチにより、Kubernetes管理者が動的にスケールできるようになり、ハイブリッド環境全体で一貫性のあるユーザー・エクスペリエンスを実現できるようになります。Red HatがサポートするセルフサービスのSandboxを使用することで、データサイエンティストや機械学習(ML)エンジニアは、データの準備、およびMLモデルのテストとトレーニングを共同で行うことができます。

Red Hatが提供する価値

20
%

より高いDevOpsと
開発チームの生産性³

29
%

より迅速な
アプリケーション開発
ライフサイクル³

636
%

5年間の投資収益率³

目次

ビジネスはITをベースに成り立っている	3
強力なIT基盤の構築からスタートする	4
自動化によりITチームを解放する	5
アプリケーションをモダナイズする	6
データのパワーを活用する	7
➔ IT環境をプロテクトする	8
クラウドを活用する	9
オープンソースで実現できることを理解する	10

87

%

の世界中のITリーダーが、企業向けのオープンソースをプロプラエタリー・ソフトウェアより安全、または同等に安全であると見なしています。⁴

IT環境をプロテクトする

特に、境界をまたがったハイブリッド環境での運用が標準になっている現在、セキュリティーをないがしろにすることはできません。セキュリティーは、ITとビジネス戦略の中心として取り組む必要があります。

Red Hatが長期的に参加している多くのオープンソース・コミュニティでは、セキュリティーの課題に対処するソリューションが継続的に共有されています。Red Hatが提供する製品やサービスには、以下を可能にするセキュリティー機能が組み込まれています。

- 開発ライフサイクルのほぼすべてのフェーズへのセキュリティー組み込み
- 安全性の高いソフトウェア・サプライチェーンの実現
- クラスタ・インフラストラクチャーとネットワーク・コミュニケーションの保護
- 不良アクターの排除
- 最新のセキュリティー・アップデートを使用していることの確認
- Microsoft WindowsとLinuxのエンドポイントの脆弱性の発見
- ヒューマン・エラーによるコンプライアンスまたは規制上の問題が発生する可能性のあるタスクの自動化

Red HatとIBMの業界最高レベルのセキュリティーを導入することで、全体的にプロテクトするためのセキュリティーへの階層型アプローチを作成できます。

目次

ビジネスはITをベースに成り立っている	3
強力なIT基盤の構築からスタートする	4
自動化によりITチームを解放する	5
アプリケーションをモダナイズする	6
データのパワーを活用する	7
IT環境をプロテクトする	8
④ クラウドを活用する	9
オープンソースで実現できることを理解する	10

89
%

のIT意思決定者が、オープンソースをより柔軟なハイブリッドクラウド戦略の鍵と見なしています。⁵

クラウドを活用する

適切なクラウド・テクノロジーを使用すれば、皆さんのITインフラが、ビジネスをサポートするために柔軟にスケールできるようになります。ただし、クラウド・ソリューションをプロプラエタリー・テクノロジーに基づくスタンドアロン・アーキテクチャーで使用すると、データをサイロ化させてしまうこととなります。ハイブリッドクラウドのアプローチは、複数のプラットフォームをまたがってデータとワークロードを移動可能にし、統一されたエクスペリエンスを生み出します。共有の基盤を使用することで、クラウドのデプロイメントをより素早く、より確実に行うことができます。

Red Hatを使用すると、オープンソースを使用して、実質的にすべてのクラウド展開（IBMクラウドなどのパブリッククラウド、プライベートクラウド、オンプレミス環境）で標準化された環境を構築できるようになります。この共有インフラストラクチャー上では、タスクを自動化するだけでなく、アプリケーションを大規模に構築、デプロイ、管理できます。Red Hatのソリューションは、開発者がクラウドとオンプレミスのデータを集約して、イノベーションを促進するのに役立ちます。

目次

ビジネスはITをベースに成り立っている	3
強力なIT基盤の構築からスタートする	4
自動化によりITチームを解放する	5
アプリケーションをモダナイズする	6
データのパワーを活用する	7
IT環境をプロテクトする	8
クラウドを活用する	9
➔ オープンソースで実現できることを理解する	10

オープンソースで実現できることを理解する

IBMは、より安定した、安全で革新的なテクノロジーへの道として、オープン開発モデルに取り組んでいます。

Red Hatのオープンソース・イノベーションがどのようにお客様の既存の投資を強化し、お客様のビジネスを前進させるのかをご説明します。[オープンソースによる新しい可能性についてご覧ください。](#)



Red Hatのソリューションの詳細は[こちら](#)

[Red Hatのツールがどのようにお使いのIBMソリューションと連携するのかに関するお問い合わせはこちら](#)

© Copyright IBM Corporation 2021

日本アイ・ビー・エム株式会社
〒103-8510
東京都中央区日本橋箱崎町19番21号

Produced in the United States of America
2021年8月

IBM、IBM ロゴおよび ibm.com は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれIBMまたは各社の商標である場合があります。現時点でのIBMの商標リストについては、www.ibm.com/legal/copytrade.shtmlをご覧ください。

登録商標Linux®は、世界各国において商標の所有者であるLinus Torvaldsの独占的ライセンスであるLinux Foundationからのサブライセンスに従って使用されます。

MicrosoftおよびWindowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標です。

Red Hat、OpenShiftおよびAnsibleは、Red Hat Inc.または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

本資料は最初の発行日時における最新情報を記載しており、予告なしに変更される場合があります。すべての製品が、IBM が営業を行っているすべての国において利用可能なものではありません。

本書に掲載されている情報は現状のまま提供され、第三者の権利の不侵害の保証、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任なしで提供されています。IBM 製品は、IBM 所定の契約書の条項に基づき保証されます。

お客様は自己の責任で関連法規を遵守しなければならないものとします。IBM は法律上の助言を提供することはいたしませんし、また、IBM のサービスまたは製品が、お客様においていかなる法を遵守していることの裏付けとなることを表明し、保証するものでもありません。

IT システム・セキュリティには、企業内外からの不正アクセスの防止、検出、および対応によって、システムや情報を保護することが求められます。不正アクセスにより、情報の改ざん、破壊もしくは悪用を招くおそれがあり、またはシステムの損傷や、他のシステムへの攻撃を含む悪用につながるおそれがあります。完全に安全と見なすことができる IT システムまたは IT 製品は存在せず、また単一の製品またはセキュリティ対策が、不正アクセスを防止する上で、完全に有効となることもありません。IBM のシステムおよび製品は、包括的なセキュリティの取り組みの一部となるように設計されており、これらには必ず追加の運用手順が伴います。また、最高の効果を得るために、他のシステム、製品、またはサービスを必要とする場合があります。IBM は、何者かの悪意のある行為または違法行為によって、システム、製品、またはサービスのいずれも影響を受けないこと、またはお客様の企業がそれらの行為によって影響を受けないことを保証するものではありません。

¹ Red Hat、「2021年版世界のテクノロジー展望」、2020年11月、<https://www.redhat.com/en/global-tech-outlook-report/2021>

² Forrester、「Forrester Wave™: マルチクラウド・コンテナ開発プラットフォーム/2020年第3四半期」、Dave BartolettiとCharlie Dai、2020年9月15日、<https://www.ibm.com/downloads/cas/Z9ZXLZR1>

³ IDCビジネス価値ホワイト・ペーパー (Red Hatが資金提供)、「Red Hat OpenShiftのビジネス価値」、Doc #US47539121、2021年3月、<https://www.redhat.com/en/resources/The-Business-Value-of-Red-Hat-OpenShift>

⁴ Red Hat、「エンタープライズ・オープンソースの現状」、2021年1月、<https://www.redhat.com/en/enterprise-open-source-report/2021>

⁵ Forrester Consulting、「エンタープライズ・ハイブリッドクラウド戦略の鍵: Forrester Consultingによる年次調査(IBMが委託)」、2021年1月、<https://www.ibm.com/downloads/cas/5ZNDXNBR>